

編集後記

「同志社国文学」第八十一号は、国文学科（専攻）創立六十周年・国文学会設立五十周年を記念して編んだ特集号である。古代から近代までの文学研究、国語教育、日本語研究の各分野から、三十七編の論文を収録した。今回は紙幅の関係もあって、大学や中学校・高等学校で教壇に立つ研究者や教員の論文に限らせていただいたが、本誌への大学院生や卒業生会員からの投稿も号を重ねることに増大している。文学部文化学科国文学専攻から文学部国文学科に改組してからも十年経ち、いっそう充実してきたことに自負を持っている。

もとより、論文の評価は読まれた方々の判断に委ねられる。一定の水準に達し、更なる研究成果を導く礎となっていくことを願っている。この号をひとつの区切りとして、次の機会、七十（六十）周年には、これを上回る発展を遂げていることを期待したい。